

会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 29 年度第 1 回佐渡市ケーブルテレビ放送施設番組審議会
開催日時	平成 29 年 10 月 17 日 14 時開会 15 時閉会
場所	佐渡市役所 2 階 第 1 会議室
議題	C N S 放送番組「市役所おススメ情報 112 c h」について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>委員</p> <p>会長 塚本明人</p> <p>副会長 葛野洋子</p> <p>委員 藤井 光</p> <p>委員 本間雅博</p> <p>委員 中川奈保子</p> <p>委員 北村 龍</p> <p>委員 長野雅子</p> <p>事務局</p> <p>総務課</p> <p>課長 甲斐由紀夫</p> <p>広報戦略室長 高野凡子</p> <p>広報広聴係長 太田一人</p> <p>情報政策係長 倉内 学</p> <p>株式会社佐渡テレビジョン (指定管理者)</p> <p>代表取締役社長 高野宏介</p> <p>制作部長 林 隆行</p>
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0 人
備考	

会議の概要（発言の要旨）

発言者	議題・発言・結果等
事務局 甲斐課長 塚本会長	あいさつ あいさつ (出席者が各自自己紹介する)
事務局 高野室長	<p>この番組は7月1日から放送を始めた30分番組で、1日3回、毎日放送している。市民の皆さんにお知らせしたいイベント情報や制度の紹介を中心に、市の職員の顔がわかるように、担当者が直接説明している。</p> <p>これまでに放送終期が決まっている113件、通年放送できる38件の合計151件の収録を行っている。1件あたりの放送時間を決めていないので、30分の放送枠にあわせるよう編集し、3日間同じ時間に番組を見ればすべてのお知らせが見ることができるよう、3つのグループに分け、随時放送終期が到来したものを抜き、そこに新しいものを挿入する形で放送している。</p> <p>収録は月に2回行っており、月あたりの収録件数は30~40件程度となっている。放送開始当初は、慣れないこともあり見づらいところもあったが、回を重ねることに改善をしながら進めている。</p> <p>この番組について意見をいただきたい。</p>
北村委員	<p>経費をかけていない感じで好感が持てる。ただ、ズームをした時に画面がぼやけていたり、音声小さくなったところがあった。今後の改善に期待したい。</p> <p>観光振興課のお知らせは面白い。淡々と続くお知らせの中に趣向をこらした内容が入ると頭に入ってくる。淡々としたお知らせが続くと頭に入っていない。</p>
中川委員	<p>30分の番組時間は長い。また、早口で説明するお知らせは頭に入っていない。</p> <p>職員で自らの名前を述べる人と述べない人がいたので、統一した方がいい。</p> <p>原稿を読んでいるのか、下を見て話している人がいて気になった。</p> <p>電話番号を2回言ってくれたり、大きな文字で表示してくれるのはありがたい。</p>
本間委員	<p>多くのイベントや手続きを担当者の個性を出して説明しており、わかりやすかった。</p> <p>2人で出演した際に音声がマイクで拾っておらず、声が聞こえないケースがあった。しっかり拾うようにしてもらいたい。</p> <p>職員が頑張っているのはわかる。</p>
長野委員	<p>お知らせ文書をそのまま説明に使ったケースがあったが、文字が</p>

	<p>かすれていて読めなかった。違う課ではテレビ用にわかりやすく作り直しており、担当者によって大きく違っている。アピール力を磨くよう、これから改善してほしい。</p> <p>観光振興課のように、衣装を着たり2人でQ&A方式で説明したりすると頭に入ってくるが、棒読みの説明では頭に入らない。</p> <p>また、情報量が多すぎる。私には子育ての関係や産業の関係は関係なく、見る側にとって不要な情報もある。この番組を30分間ずっと見ていられる人は少ない。自分に関係ない情報が続くと見るのを止めてしまう。今のようにランダムに情報を流すのではなく、情報を分類ごとにまとめるとか番組冒頭に「この情報は何分後」といったインデックス的な情報を出さないと、必要な情報が伝わらなくなってしまうのではないか。</p> <p>今回見た3回分の放送で47のお知らせがあった中の金メダルは「奉行所 de スイーツ」で、貸衣装を着てお知らせをしていた。銀メダルは「屋外広告物」。地味な内容だが、ポンチ絵がうまく作られており、非常にわかりやすかった。銅メダルは、「SADO みらい会議ワークショップ」。紙芝居風に作られており、頭に入りやすく、保育ルームの用意の説明もあり印象が良かった。次点は「避難者支援名簿の整備」で、これもポンチ絵が高齢者でも理解しやすいもので非常に良かった。</p> <p>放送を開始したばかりということもあるが、自分にとって関係ない情報もある中で、30分間ずっと見ていられない。部単位あるいは情報のテーマごとにまとめるとか、番組冒頭に一覧表で放送する内容を示すように整理をしたほうがいい。</p>
<p>藤井委員</p>	<p>放送開始直後は見にくい面もあったが、紙芝居方式を取り入れるなど回数を重ねるごとに進化していることは感じる。</p> <p>職員の顔を見せる目的もあることは理解したが、職員の顔ではなくフリップを映してほしい場面があった。映像の使い分けをうまくするといい。また、ポスターだけではなく写真や映像が入るとイメージが付きやすい。</p>
<p>塚本会長</p>	<p>今回の放送はこういう項目だという情報があるといい。ただ、情報の内容ごとに分類するより、様々な情報がランダムに出てきた方が飽きなくていいのではないか。</p> <p>視線が下にあるとの意見もあったが、逆に前を見て頑張って伝えていると感じた。情報を伝えようという感じが非常に伝わり、職員が頑張っているという印象を受けた。</p>
<p>北村委員</p>	<p>すべて活字にするのではなく、注目してほしいところだけを手書きにしたり、イラストを入れると見る人も引き込まれやすい。それぞれの課のいいところを参考にして、いいものにしてほしい。</p>

<p>本間委員 塚本会長</p>	<p>職員がテレビに出演し顔を見られることで、職員も普段の生活から気をつけるようになる。すべての職員を出演させたほうがいい。</p> <p>番組の冒頭に放送する内容の一覧表があるといい。</p> <p>伝えたいことをただ読むだけでなく、フリップを矢印で示すなどピックアップするとよりわかりやすい。話し方も抑揚や間といったテクニックを使えるようになると、より注目されるようになる。</p>
<p>長野委員</p>	<p>様々な情報がごちゃ混ぜになっているので、見る人にとって有用でない情報も見なくてはならなくなり飽きてしまう。イベント情報・お知らせなど一定の括りで分類し、キャッチコピーをつけることで、興味を引くことができるようになるのではないか。人によって必要な情報は異なる。</p>
<p>塚本会長</p>	<p>30分番組を10分ごとに分類により区切る方法もある。その上で、真面目な放送の中に「ここからは我々の出番です」というような感じで、面白みもある演出があってもいい。</p> <p>DVDを紹介するお知らせがあったが、その際少しでもDVDの映像を見せてあげると興味を引きやすいのではないか。</p>
<p>藤井委員</p>	<p>市のガバナンス委員会の発足との新聞報道があったが、このような委員会が必要だということが切ない。職員が悪いことをできないようにすべての職員の出演させるのはいい意見だ。</p> <p>さらに内容を工夫してこの番組を見ればすべてわかるというレベルにしてほしい。</p>
<p>中川委員</p>	<p>1日3回の番組をローテーションしながら放送しているのはいいが、30分という放送時間は長い。</p> <p>市では放送前に番組を確認しているか。</p>
<p>事務局 高野室長 中川委員</p>	<p>収録の際に立ち会い、確認している。</p> <p>市民生活課の海外旅行での感染症予防対策では、フリップに手書きで着色し強調していたのが、非常にわかりやすく、文字の色を変えていた社会福祉課の障がい者相談センターもわかりやすかった。</p> <p>写真や絵が使われていた社会福祉課の赤十字奉仕団、建設課の屋外広告物もよかった。いろいろと工夫していることは感じられた。</p>
<p>塚本会長</p>	<p>ジェットフォイルで行く佐渡体験パックで言葉遣いが変に丁寧すぎて、日常会話との違和感があるところがいくつかあった。普通に「ですます調」でいいのではないか。</p> <p>真野第2保育園・西三川デイサービスセンターの指定管理者募集は目的別に説明がされて非常にわかりやすかった。</p> <p>全般的に努力している印象を持った。</p> <p>以上で終了する。</p>
<p>葛野副会長</p>	<p>あいさつ</p>